

◆ 今週のコメント (感染地域、感染経路については推定を含みます。)

- ・ カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症の報告が1例(60歳代男性)あり、本年の累積報告数は34例となりました。
- ・ 侵襲性肺炎球菌感染症の報告が1例(90歳代女性)あり、症状は発熱、全身倦怠感、菌血症で、感染地域は国内です。本年の累積報告数は60例となっています。
京都市では、「高齢者肺炎球菌ワクチン」を定期予防接種として実施しています。詳しい情報については、下記URLを御参照ください。
○高齢者肺炎球菌ワクチンの定期の予防接種について(健康安全課ホームページ)
<http://www.city.kyoto.lg.jp/hokenfukushi/page/0000171591.html>
- ・ 梅毒の報告が1例(30歳代男性、第50週追加分)あり、症状は初期硬結で、感染地域は国内、感染経路は性的接触(異性間)です。本年の累積報告数は70例となりました。
梅毒の感染経路や治療、予防等に関しては、下記ホームページを御覧ください。
○京都市情報館「京都市衛生環境研究所にゆーす(平成29年度第1号)「性感染症」って何？」
<http://www.city.kyoto.lg.jp/hokenfukushi/page/0000175313.html>
○厚生労働省「梅毒に関するQ&A」
http://www.mhlw.go.jp/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/kenkou/kekaku-kansenshou/seikansenshou/qanda2.html

◆ 今週のトピックス: <インフルエンザ>

京都市のインフルエンザの定点当たり報告数は7.72(533例)となり、前週の3.81(263例)から倍増し、第48週の「流行シーズン入り」から報告数が急増し続けています。詳細をトピックスに掲載しています。

◆ 発生状況

全数把握の感染症

- ・ 二類:結核 9例(肺結核 3例, その他結核 1例, 潜在性結核感染者 5例)うち喀痰塗抹陽性 2例
【1月以降の累積報告数 367例(肺結核 184例, その他結核 59例, 潜在性結核感染者 124例)うち喀痰塗抹陽性 87例】
- ・ 五類:カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症 1例【1月以降の累積報告数 34例】
- ・ 五類:侵襲性肺炎球菌感染症 1例【1月以降の累積報告数 60例】
- ・ 五類:梅毒 1例【1月以降の累積報告数 70例】

定点把握の主な感染症

(市内定点数 インフルエンザ定点69, 小児科定点43, 眼科定点10, 基幹定点1)

定点	感染症名	定点当たり報告数	報告数
インフルエンザ*	インフルエンザ	7.72	533
小児科 (降順5位まで)	① 感染性胃腸炎	8.86	381
	② A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1.21	52
	③ 手足口病	0.40	17
	④ RSウイルス感染症	0.37	16
	⑤ 突発性発しん	0.30	13
眼科	流行性角結膜炎	0.80	8

【次ページ以降の主な内容】

発生状況の概況グラフ / 今週のトピックス:<インフルエンザ>

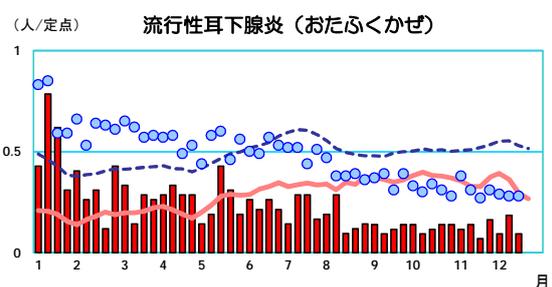
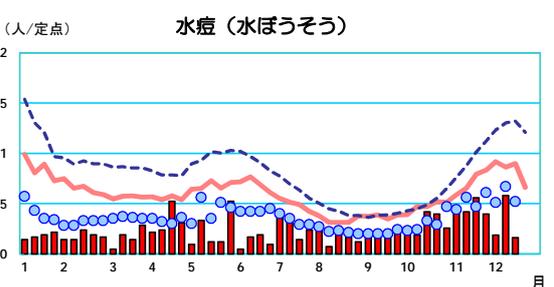
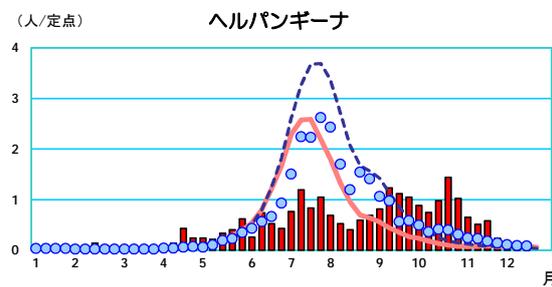
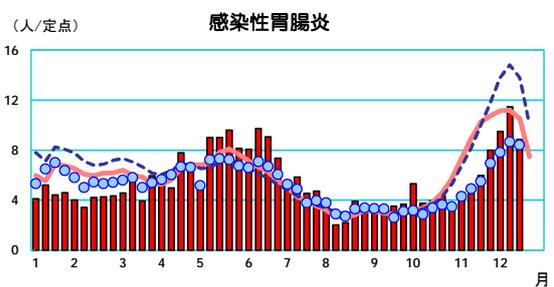
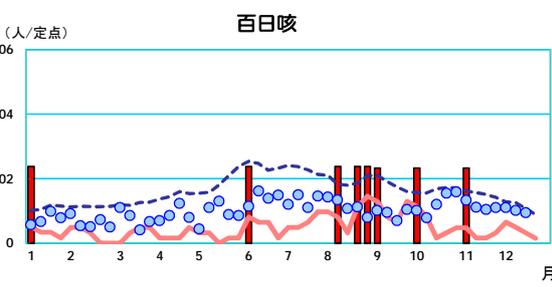
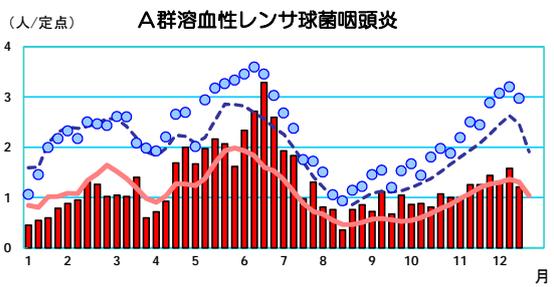
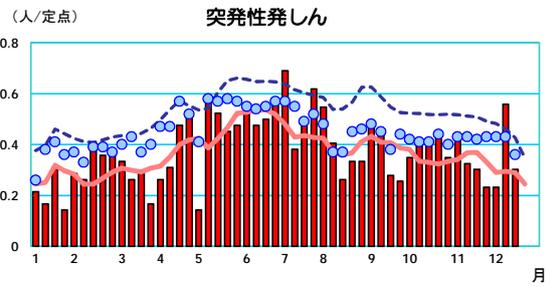
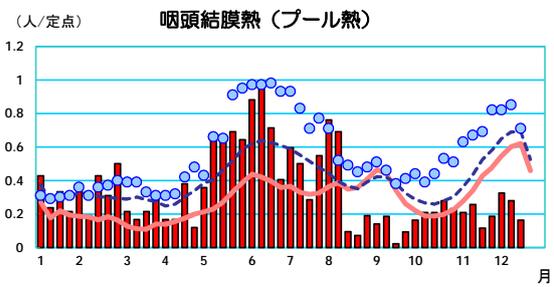
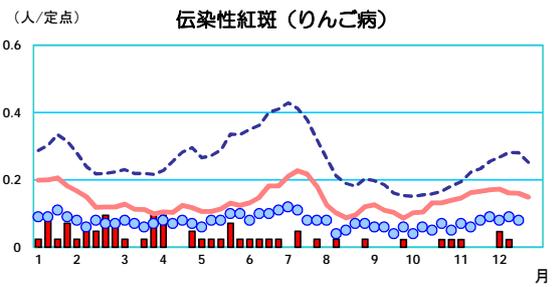
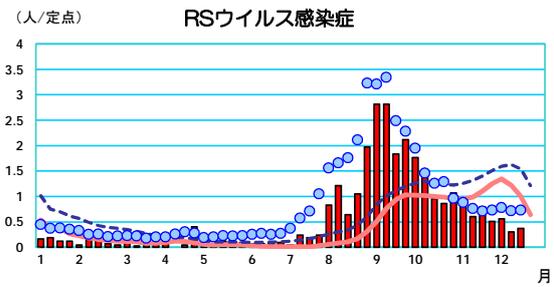
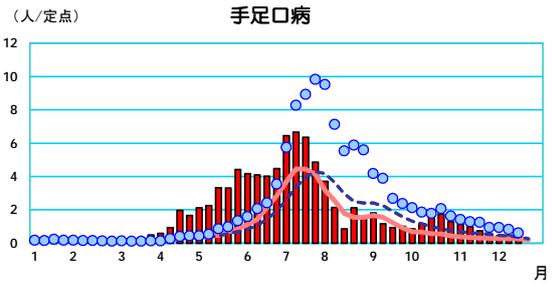
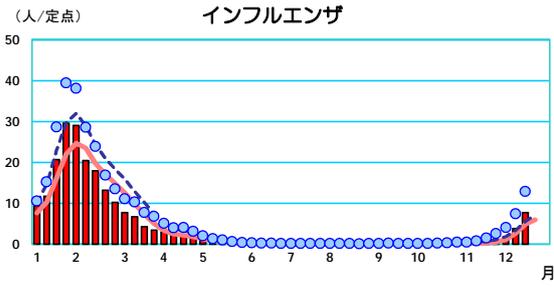
付表(疾病, 行政区別報告数 / 年齢階級, 疾病別報告数 / 週, 疾病別報告数)

(注)京都市のデータは、平成29年12月27日現在の報告数で、全国の還元データと若干異なる場合があります。

また、本情報での患者数は、届出医療機関所在地での集計で、患者の住所を示すものではありません。

* 感染地域及び感染経路については推定を含みます。

インフルエンザ及び小児感染症の疾病別推移グラフ（平成29年）



第51週(12月18日～12月24日)トピックス: <インフルエンザ>

発生動向

京都市のインフルエンザの定点当たり報告数は7.72(533例)となり、前週の3.81(263例)から倍増し、第48週の「流行シーズン入り」から報告数が急増し続けています。全国では今週「注意報レベル」である「10」を超えました(図1)。

都道府県別で見ると、全都道府県で定点当たり報告数が大幅に増えており、「10」を超えているのは、前週の11県から今週は28都道県に増え、さらに、宮崎県、長崎県をはじめ8県で20を超えています。近畿では滋賀県で今週「10」を超えました(図2)。

京都市の年齢階級別割合を見ると、流行シーズン入りした第48週から今週まで徐々に乳幼児(0～4歳)の割合が増加しています。学童及び中学生程度の14歳までの割合を含めると、どの週も全体の7割前後を占めており(図3)、保育施設や学校等での集団発生には一層の注意が必要です。

症状及び予防

インフルエンザは1～4日間の潜伏期間を経て、突然、発熱(38℃以上の高熱)・頭痛・全身倦怠感・筋肉痛・関節痛等が出現し、併せて鼻水・咳等の呼吸器症状もみられます。

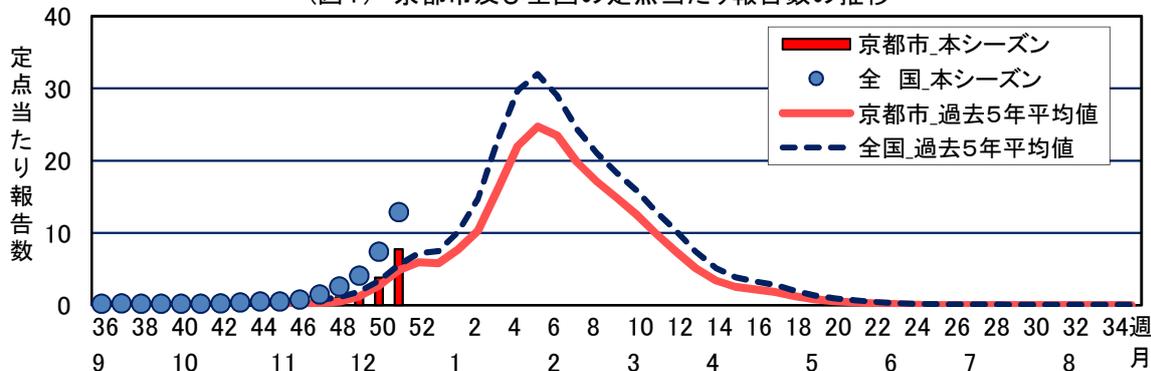
今後数週間で流行のピークを迎えると思われますので、感染拡大を防ぐために、咳エチケットや流水・石鹸による手洗い、うがいを徹底してください。京都市では咳エチケットについて紹介しています。詳しくは下記URLを御参照ください。

○「インフルエンザをうつさんよう せきエチケット 守っておくれやす」

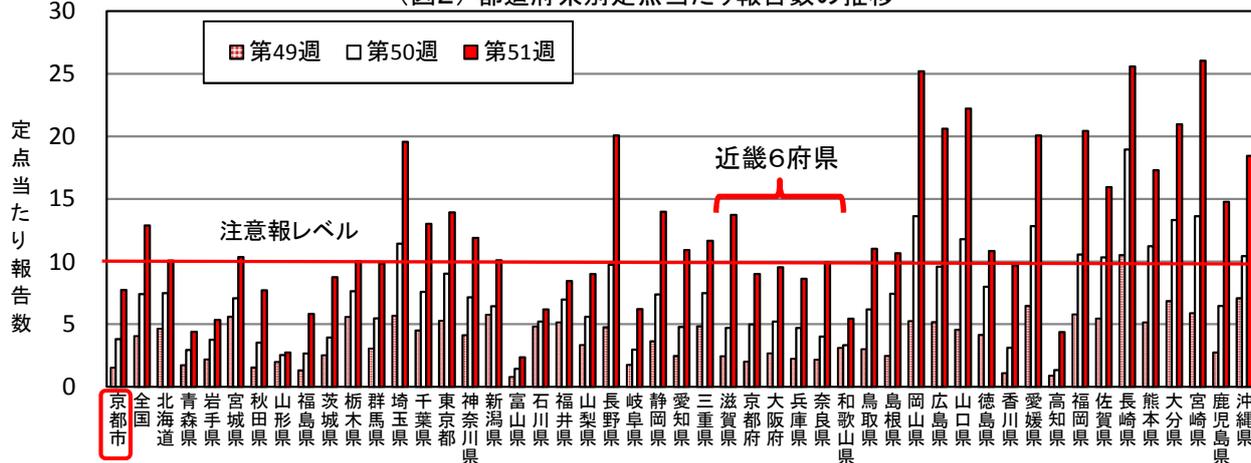
京都市こどもの感染症, 平成30年1月号(PDF形式), (京都市衛生環境研究所)

<http://www.city.kyoto.lg.jp/hokenfukushi/page/0000146238.html>

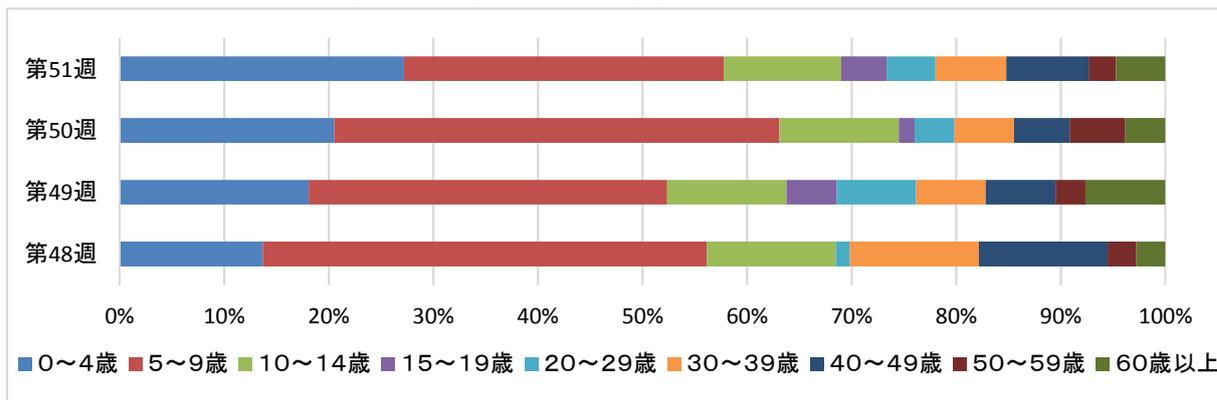
(図1) 京都市及び全国の定点当たり報告数の推移



(図2) 都道府県別定点当たり報告数の推移



(図3) 第48週～第51週までの京都市の年齢階級別割合



T3201

京都市感染症発生動向調査情報

集計対象:平成29年第51週

疾病,行政区別報告数

平成29年12月18日～平成29年12月24日

データ入手日:平成29年12月27日

	インフルエンザ (※1)	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌 咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎(※2)	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎(※3)	感染性胃腸炎(※4)	
男女合計																				
北	20	1	-	2	6	2	-	-	-	-	-	-	-	4						
上京	14	-	-	2	4	-	1	-	-	-	-	-	-	-						
左京	39	2	-	-	78	1	-	-	-	-	-	-	-	-						
中京	20	-	-	6	7	-	2	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-
東山	21	3	-	-	24	-	1	-	-	-	-	-	-	-						
山科	93	-	1	1	4	-	3	-	6	-	-	-	-	-						
下京	3	-	-	-	5	-	-	-	-	-	-	1	-	-						
南	77	-	-	4	33	1	1	-	-	-	-	-	-	-						
右京	50	6	3	15	59	1	4	-	1	-	5	1	-	3						
伏見	135	1	-	13	114	1	3	-	4	-	-	-	-	-						
西京	61	3	3	9	47	1	2	-	2	-	-	1	-	-						
京都市計	533	16	7	52	381	7	17	-	13	-	5	4	-	8	-	-	-	-	-	-

疾病,行政区別定点当たり報告数

	インフルエンザ (※1)	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌 咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎(※2)	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎(※3)	感染性胃腸炎(※4)	
男女合計																				
北	2.86	0.25	-	0.50	1.50	0.50	-	-	-	-	-	-	-	4.00						
上京	2.80	-	-	0.67	1.33	-	0.33	-	-	-	-	-	-	-						
左京	5.57	0.50	-	-	19.50	0.25	-	-	-	-	-	-	-	-						
中京	4.00	-	-	2.00	2.33	-	0.67	-	-	-	-	0.33	-	0.50	-	-	-	-	-	-
東山	7.00	1.50	-	-	12.00	-	0.50	-	-	-	-	-	-	-						
山科	13.29	-	0.20	0.20	0.80	-	0.60	-	1.20	-	-	-	-	-						
下京	1.00	-	-	-	2.50	-	-	-	-	-	-	0.50	-	-						
南	15.40	-	-	1.33	11.00	0.33	0.33	-	-	-	-	-	-	-						
右京	6.25	1.20	0.60	3.00	11.80	0.20	0.80	-	0.20	-	1.00	0.20	-	3.00						
伏見	12.27	0.14	-	1.86	16.29	0.14	0.43	-	0.57	-	-	-	-	-						
西京	7.63	0.60	0.60	1.80	9.40	0.20	0.40	-	0.40	-	-	0.20	-	-						
京都市計	7.72	0.37	0.16	1.21	8.86	0.16	0.40	-	0.30	-	0.12	0.09	-	0.80	-	-	-	-	-	-

※1 インフルエンザは、鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症は除くが、新型インフルエンザのうち、A/H1N1については含む。

※2 細菌性髄膜炎は髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌を原因として同定された場合を除く。

※3 クラミジア肺炎はオウム病を除く。

※4 感染性胃腸炎は病原体がロタウイルスであるものに限る。

京都市感染症発生動向調査情報

集計対象:平成29年第51週

年齢階級, 疾病別報告数

平成29年12月18日～平成29年12月24日

データ入手日:平成29年12月27日

京都市	年齢1 年齢2	総数 総数	～5ヶ月 ～5ヶ月	～11ヶ月 ～11ヶ月	1歳 1歳	2歳 2歳	3歳 3歳	4歳 4歳	5歳 5歳	6歳 6歳	7歳 7歳	8歳 8歳	9歳 9歳	10歳- 10歳-	15歳- 15歳-	20歳- 20歳-	30歳- 30歳-	40歳- 40歳-	50歳- 50歳-	60歳- 60歳-	70歳- 70歳以上	80歳以上
男女合計	年齢3 年齢4	総数 総数	～5ヶ月 0歳	～11ヶ月 1歳-	1歳 5歳-	2歳 10歳-	3歳 15歳-	4歳 20歳-	5歳 25歳-	6歳 30歳-	7歳 35歳-	8歳 40歳-	9歳 45歳-	10歳- 50歳-	15歳- 55歳-	20歳以上 60歳-	30歳- 65歳-	40歳- 70歳以上	50歳- 70歳以上	60歳- 70歳以上	70歳- 70歳以上	80歳以上
インフルエンザ(※1)	年齢1	533	2	6	28	28	29	52	31	35	36	38	23	60	23	25	36	42	14	13	2	10
RSウイルス感染症	年齢3	16	1	5	5	4	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
咽頭結膜熱		7	-	1	3	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		52	-	-	2	4	5	3	8	6	7	5	3	6	-	3	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎		381	2	25	63	43	40	25	30	30	21	14	13	28	10	37	-	-	-	-	-	-
水痘		7	-	-	-	-	1	1	1	1	-	1	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-
手足口病		17	-	3	3	7	2	1	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
伝染性紅斑		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
突発性発しん		13	-	4	7	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
百日咳		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ		5	-	2	2	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性耳下腺炎		4	-	-	-	1	-	-	-	-	1	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
急性出血性結膜炎		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎		8	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	2	1	1	1	-
細菌性髄膜炎(※2)		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
マイコプラズマ肺炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
クラミジア肺炎(※3)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
感染性胃腸炎(※4)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	

年齢階級, 疾病別定点当り報告数

京都市	年齢1 年齢2	総数 総数	～5ヶ月 ～5ヶ月	～11ヶ月 ～11ヶ月	1歳 1歳	2歳 2歳	3歳 3歳	4歳 4歳	5歳 5歳	6歳 6歳	7歳 7歳	8歳 8歳	9歳 9歳	10歳- 10歳-	15歳- 15歳-	20歳- 20歳-	30歳- 30歳-	40歳- 40歳-	50歳- 50歳-	60歳- 60歳-	70歳- 70歳以上	80歳以上
男女合計	年齢3 年齢4	総数 総数	～5ヶ月 0歳	～11ヶ月 1歳-	1歳 5歳-	2歳 10歳-	3歳 15歳-	4歳 20歳-	5歳 25歳-	6歳 30歳-	7歳 35歳-	8歳 40歳-	9歳 45歳-	10歳- 50歳-	15歳- 55歳-	20歳以上 60歳-	30歳- 65歳-	40歳- 70歳以上	50歳- 70歳以上	60歳- 70歳以上	70歳- 70歳以上	80歳以上
インフルエンザ(※1)	年齢1	7.72	0.03	0.09	0.41	0.41	0.42	0.75	0.45	0.51	0.52	0.55	0.33	0.87	0.33	0.36	0.52	0.61	0.20	0.19	0.03	0.14
RSウイルス感染症	年齢3	0.37	0.02	0.12	0.12	0.09	-	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
咽頭結膜熱		0.16	-	0.02	0.07	-	-	0.05	-	-	-	-	-	-	-	0.02	-	-	-	-	-	-
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		1.21	-	-	0.05	0.09	0.12	0.07	0.19	0.14	0.16	0.12	0.07	0.14	-	0.07	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎		8.86	0.05	0.58	1.47	1.00	0.93	0.58	0.70	0.70	0.49	0.33	0.30	0.65	0.23	0.86	-	-	-	-	-	-
水痘		0.16	-	-	-	-	0.02	0.02	0.02	-	0.02	0.02	0.02	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-
手足口病		0.40	-	0.07	0.07	0.16	0.05	0.02	-	-	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
伝染性紅斑		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
突発性発しん		0.30	-	0.09	0.16	0.02	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
百日咳		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ		0.12	-	0.05	0.05	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性耳下腺炎		0.09	-	-	-	0.02	-	-	-	-	0.02	0.02	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-
急性出血性結膜炎		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎		0.80	-	-	0.10	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.10	0.10	-	0.20	0.10	0.10	0.10	-
細菌性髄膜炎(※2)		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
マイコプラズマ肺炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
クラミジア肺炎(※3)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
感染性胃腸炎(※4)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	

※1 インフルエンザは、鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症は除くが、新型インフルエンザのうち、A/H1N1については含む。

※2 細菌性髄膜炎は髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌を原因として同定された場合を除く。

※3 クラミジア肺炎はオウム病を除く。

※4 感染性胃腸炎は病原体がロタウイルスであるものに限る。

T3203

京都市感染症発生動向調査情報

集計対象:平成29年第51週

週, 疾病別報告数

データ入手日:平成29年12月27日

京都市 男女合計	5週前	4週前	3週前	2週前	1週前	今週
インフルエンザ ※1	19	41	73	105	263	533
RSウイルス感染症	26	34	22	24	13	16
咽頭結膜熱	11	5	8	14	12	7
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	54	54	62	57	68	52
感染性胃腸炎	220	257	344	408	493	381
水痘	18	24	17	8	25	7
手足口病	42	32	21	19	19	17
伝染性紅斑	-	-	-	2	1	-
突発性発しん	14	13	10	10	24	13
百日咳	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ	22	25	10	3	3	5
流行性耳下腺炎	6	3	7	4	8	4
急性出血性結膜炎	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	4	1	6	8	5	8
細菌性髄膜炎 ※2	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	1	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	1	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎 ※3	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎 ※4	-	-	-	-	-	-
合計	438	489	580	662	934	1,043

週, 疾病別定点当たり報告数

京都市 男女合計	5週前	4週前	3週前	2週前	1週前	今週
インフルエンザ ※1	0.28	0.59	1.06	1.52	3.81	7.72
RSウイルス感染症	0.60	0.79	0.51	0.56	0.30	0.37
咽頭結膜熱	0.26	0.12	0.19	0.33	0.28	0.16
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1.26	1.26	1.44	1.33	1.58	1.21
感染性胃腸炎	5.12	5.98	8.00	9.49	11.47	8.86
水痘	0.42	0.56	0.40	0.19	0.58	0.16
手足口病	0.98	0.74	0.49	0.44	0.44	0.40
伝染性紅斑	-	-	-	0.05	0.02	-
突発性発しん	0.33	0.30	0.23	0.23	0.56	0.30
百日咳	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ	0.51	0.58	0.23	0.07	0.07	0.12
流行性耳下腺炎	0.14	0.07	0.16	0.09	0.19	0.09
急性出血性結膜炎	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	0.40	0.10	0.60	0.80	0.50	0.80
細菌性髄膜炎 ※2	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	1.00	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	1.00	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎 ※3	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎 ※4	-	-	-	-	-	-
合計	12.28	11.09	13.31	15.09	19.80	20.20

※1 インフルエンザは、鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症は除くが、新型インフルエンザのうち、A/H1N1については含む。

※2 細菌性髄膜炎は髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌を原因として同定された場合を除く。

※3 クラミジア肺炎はオウム病を除く。

※4 感染性胃腸炎は病原体がロタウイルスであるものに限る。